

令和6年度名取市高齢者歯科訪問診療事業運営委員会 会議録報告書

日 時：令和6年7月25日（木） 19:00～19:40

場 所：名取市保健センター 2階 会議室

出席者：委員7名、事務局6名

傍聴人：0人

概要：

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 名取市高齢者歯科訪問診療事業運営委員会
会長・副会長の選任
- 4 報告
令和5年度高齢者歯科訪問診療事業について
令和5年度歯科保健事業について
健やかなとり21(名取市健康増進計画第3次)について

質疑応答：

○委員

歯科衛生士のスタッフについて教えていただければと思う。

○事務局

今年度から会計年度の歯科衛生士が2人体制に増えた。

○委員

歯周病検診の受診率向上で令和4年が9.5%、目標が20%とある。歯周病検診で来院するが、その時は治療できないため、受診券を使用せずに、治療する方も結構いる。その方は、受診率には含まれない。そういった方も含めれば、受診率は増えると思う。受診券は使わなかったが、受診してる方をお知らせする方法はないのかと思った。

○会長

すでにメンテナンスで定期的に通われてる方は、潜在的にいる。

○委員

歯周病検診の受診率は増えるのかなと思う。意見として、何かあれば今後検討していただければと思う。

○会長

メンテナンスに行かれてない方に周知するというのがこの歯周病検診の一番の目的だと思うが、メンテナンスに通われている方のチェック項目があるとまた違うのではないか。要望としてその辺もご検討いただければと思う。

5 議事

令和6年度高齢者歯科訪問診療事業(案)について

質疑応答：

○委員

宮城県で、歯と口腔の健康づくり基本計画が、今年度から改定され、3期目がスタートした。基本的な内容に関しては、第2期計画の成果を受け継ぐ形となっている。先生方のご協力などもあり、子どものむし歯は減っているが、全国の平均より悪い状況が続いている。引き続き4つの方向性を定め、子どもの頃からの歯科口腔保健対策を進めていくことを計画に入れている。新たな視点というところで、達成指標に3歳児で4本以上虫歯を持つ方を減らす、健康格差を減らすなどの内容が入っている。また、口腔機能の維持向上で50歳以上における咀嚼良好者の割合を増やすというオーラルフレイル対策の視点なども新しく入っている。大規模災害時の歯科口腔保健に関する事項についても新たに追加をした計画になっている。歯科医師の先生方、市町村のご協力をいただいて、推進していくような形になるので、引き続きご協力をいただければと思う。名取市でも今年歯科条例を作成するというので、県内でも先進的な取り組みになると思う。

6 その他

特になし。

7 閉会